

東京工業品取引所商品指数・TOCOM Index 取引所が開発した世界初の指数

東京工業品取引所理事 小野里 光博

東京工業品取引所（東工取）は2006年7月24日より「東京工業品取引所商品指数」（英語名：TOCOM Index、以下TOCOM Index）の公表を開始しました。これは東工取市場の価格水準を総合的に表すもので、商品取引所が独自に開発・公表する総合的商品指数としては世界で初めての指数となります。

TOCOM Index開発の背景と経緯

近年、商品市場の発展や商品価格の上昇を受け、商品市場に目を向ける投資家が全世界的に増加しつつあります。また、商品価格は株式や債券と異なる動きをすることから、新たな分散投資先として商品市場を検討する年金運用機関などの機関投資家も増加しています。このような機関投資家は投資判断を下すためのベンチマークを参照しながら運用を行っており、海外においては代表的な商品指数がその役割を担っています。

こうした世界的潮流の中、国内においても本所の上場商品の価格を組み入れた独自の商品指数を開発する企業や、その指数に基づいた投資信託や商品ファンドを販売する企業が次第に増加しつつあります。しかし、これらの指数は運用のパフォーマンスを高めることを第一義としているため、ベンチマークとし

て適切なものとは言い難い側面がありました。

このような状況を踏まえ、日本国内の商品市場の価格水準を総合的に表し、各投資信託・商品ファンド等の運用パフォーマンスを評価するベンチマークとしての機能を果たし得る客観性・公正性の高い商品指数に対するニーズが高まってきたのです。

こうしたニーズを受けて、東工取が商品指数の開発に着手したのは、改正商品取引所法の施行を間近に控えた05年春のことでした。改正法では、産業インフラとしての商品先物市場の役割が高まり、また、国際的な市場間の競争が高まる中で、ITの進化や委託手数料の完全自由化により、わが国の商品取引員の経営環境が変化しつつあることなどを背景に、商品先物取引における信頼性や利便性向上のための諸制度が整備されました。

同時に、商品先物市場を分散投資先として利用しようとする年金運用機関や投資信託委託会社等の金融機関が新たな市場参加者として商品先物市場に参入し、これによって市場流動性の向上と業界の発展が図られることを期待する声が高まってきました。

そこで、東工取では05年9月から本格的な作業に入り、既存の指数の調査および経済産業省を含めた専門家による勉強会を開始し、06年の春までに取引所の事務局案を取りまと

めることができました。その後、同年5月の理事会において、青山学院大学教授の芹田敏夫教授を委員長とする「指数運営特別委員会」の設置が承認され、同委員会において商品指数の設計および公表について審議されました。その結果、7月14日に開催された同委員会において、「TOCOM Indexの設計および公表方法に関する事務局案は適切である」との報告を受け、7月の理事会の承認を経たうえで、7月24日より公表の運びとなりました。

TOCOM Indexの意義

TOCOM Indexは、東工取の価格水準を総合的に表し、投資信託・商品ファンドなどの運用パフォーマンスを評価するベンチマークとしての機能を果たすことを主たる目的として開発された総合商品指数ですが、商品指数は一般に物価との相関が高いため、当業者にとっては総合的なヘッジ戦略を組むための指針となり、インフレヘッジのツールとしての役割を果たし得るため、産業インフラとしての機能の充実にも寄与するものと期待されます。

TOCOM Indexの概要

TOCOM Indexの概要は右表の通りです。取引所という公的機関が算出する指数に求められる重要な要素の一つは客観性・透明性ですから、TOCOM Indexの算出の基となるデータはすべて公的に発表されている数値を用い、その算出方法も全面的に公開されています。

また、TOCOM Indexの設計においては、この指数に基づいて運用を行うパッシブ・ファンドやアクティブ・ファンドなどの実運用

性についても十分な配慮がなされています。

これまでの反応と今後の対応

TOCOM Indexは、東工取のホームページのみならず、全国紙や業界紙や情報ベンダーなどの有力媒体に掲載されており、すでに数多くの報道が行われています。また、各種金融機関からは、詳細な設計内容やライセンス条件などについて問い合わせを受けており、総合商品指数に対するニーズの高さがうかがわれます。また、一部の関係者からは、TOCOM Indexを原商品とする指数先物の上場を期待する声も寄せられています。東工取としては、これらの声を踏まえて、TOCOM Indexの普及に向けての啓発活動を継続するとともに、指数先物の上場についても、関係者との意見交換に行いつつ、前向きに検討してまいりたいと考えております。

TOCOM Indexの概要

名 称	東京工業品取引所商品指数（英語名 TOCOM Index）
構成銘柄	オプション取引を除く東京工業品取引所上場商品すべて
計算方法	構成銘柄ごとの配分比率に当該銘柄の価格騰落率を乗じ、それを全構成銘柄分合計し算出する
配分比率	各構成銘柄の現物市場の規模（金額ベース）と先物市場の規模（金額ベース）に基づいて決定する
基 準 日	2002年5月31日を基準日とし、同日の帳入値段に基づく指数値を100.00とする
限 月 の 切り替え方法	月初第5営業日から第9営業日までの5営業日間で5分の1ずつ限月の切り替えを行う。